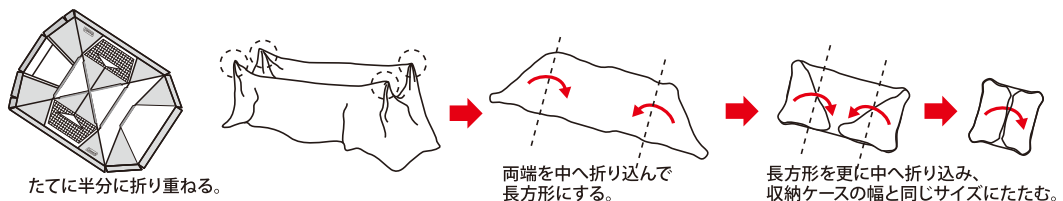


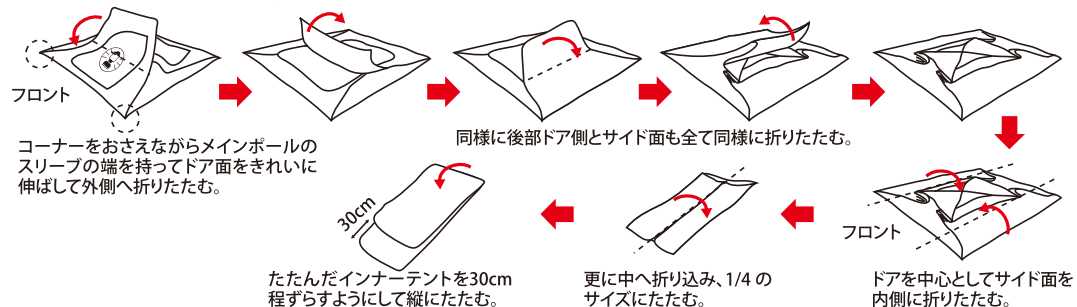
撤収手順

STEP 1 ルーフフライ、吊り下げていたインナーテントを取り外します。フライシートを固定したペグ、ロープ、ポールをすべて外し、下図のようにしてたたみます。

注意 テントを濡れたままで収納しますと防水効果が著しく損なわれる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。

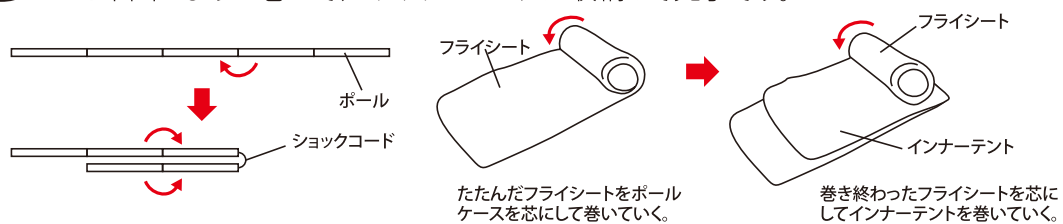


STEP 2 取り外したインナーテントを広げ、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



注意 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。

STEP 3 ポールを全ておろしたままポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意 ポールを収納する際は、真ん中から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命をのばす事ができます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。

WEATHERMASTER® WIDE 2-ROOM STD

[ウェザーマスター® ワイド2ルーム STD]

取扱い・組立て説明書



コールマンジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス：0120-111-957

受付時間：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際には水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原の中洲や崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際はグローブを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。また、指を挟まないように注意してください。
- ポールを伸ばす際は周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールのはね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指を打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールを組み立てやペグ打ちの作業をさせないでください。
- 風が強い時はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体はペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のペグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認しておいてください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。
- 結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テント内の換気を行うことで改善することができます。

収納・管理の注意

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、又は物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

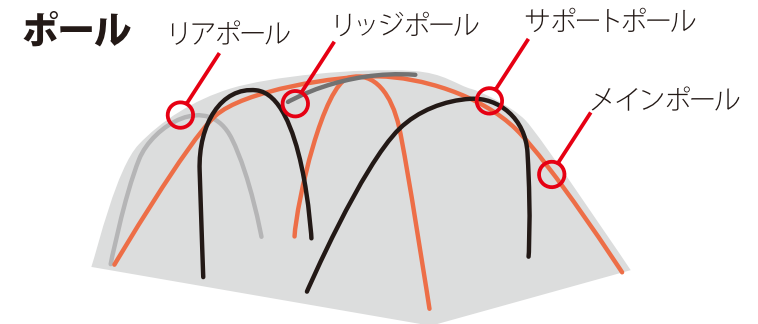
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納は、色移りやカビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると色移りやカビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた砂や土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納しますと腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子どもの手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- フライシート 1張
- インナーテント 1張
- メインポール (シルバー/ゴールド) 2本
- サポートポール (シルバー) 2本
- リアポール (シルバー/レッド) 1本
- リッジポール (シルバー) 1本
- ルーフフライ 1枚
- ロープ ベージュ 6本
- スチールペグ 18本
- ハンマー 1ヶ

完成図



インナーテント



[ルーフフライ装着時]

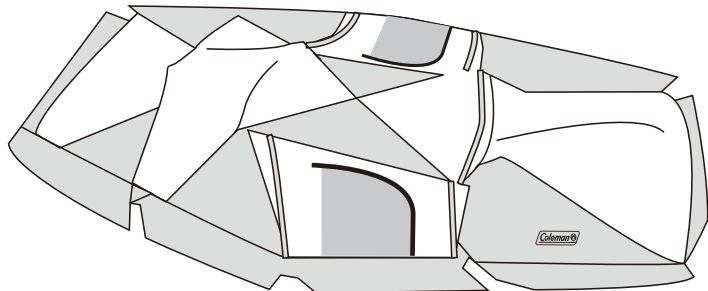


※設営時のポイント
本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドクリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

設営手順

I フライシートを広げる

STEP 1 フライシートを広げます。
スタンディングテープのバックルをすべてとめておいてください。



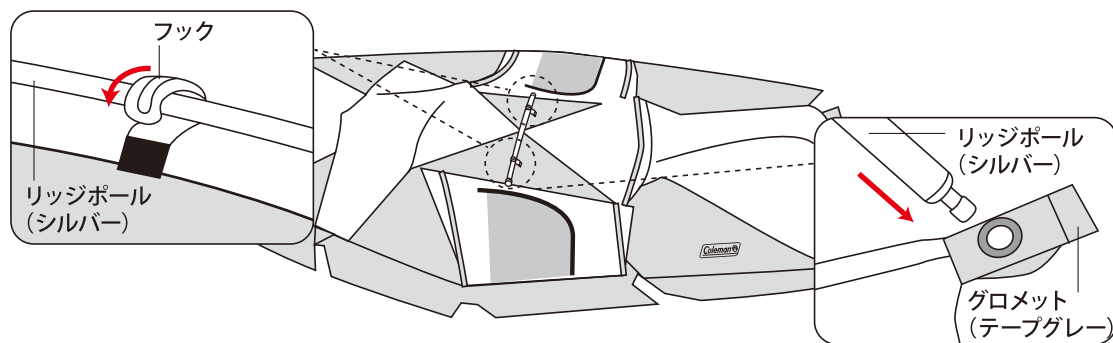
II リッジポールをセットする

STEP 2 リッジポール (シルバー) を伸ばします。

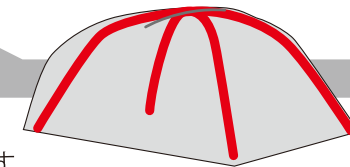


注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 リッジポールの端をグロメット (テープがグレー) に差し込みます。
フライシートについているフックをポールにかけ固定します。



III メインポールを立ち上げる

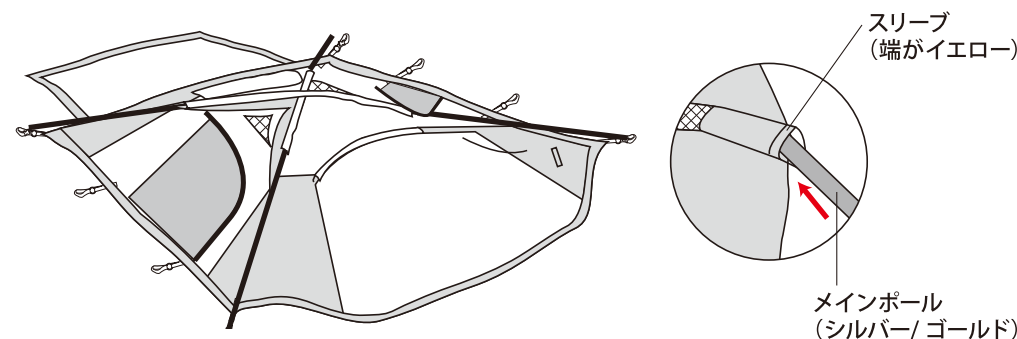


STEP 4 メインポール (シルバー/ゴールド) 2本を伸ばします。



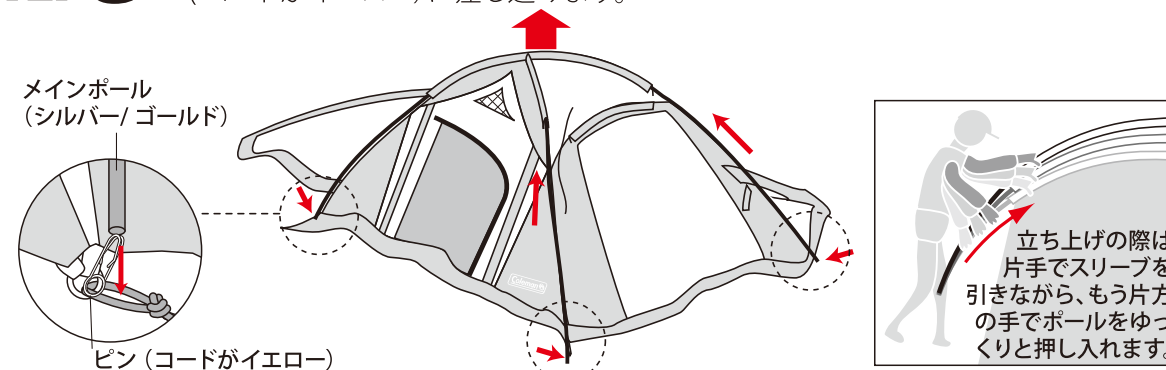
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。
不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 5 メインポール (シルバー/ゴールド) をスリーブ (端がイエロー) に通します。
片側のポールの端を、フライシートのピン (コードがイエロー) に差し込みます。



注意 ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。
ポールをピンに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

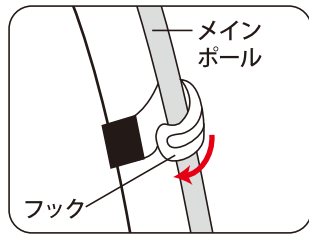
STEP 6 メインポール (シルバー/ゴールド) 2本を立ち上げ、フライシートコーナーのピン (コードがイエロー) に差し込みます。



注意 片側ずつ2人同時に立ち上げてください。無理に立ち上げようとする
とポール破損の原因となります。
ポールをピンに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

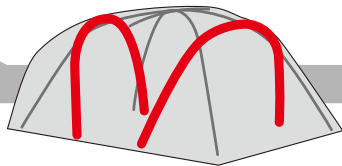
STEP 7

フライシートについているフックをポールにかけ固定します。



注意 フックをポールにかけるとき、指をはさまないように注意してください。

IV サポートポールをセットする



STEP 8

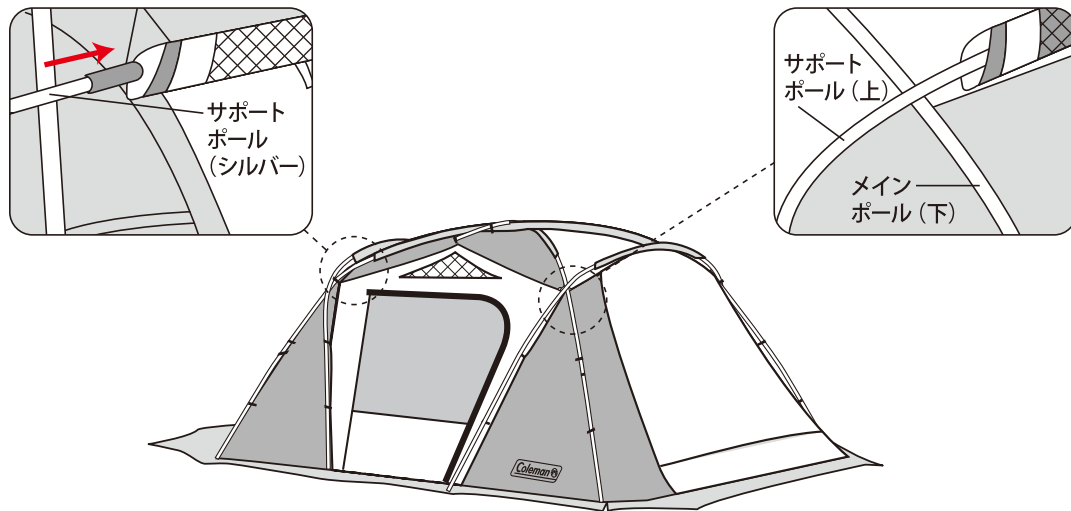
サポートポール (シルバー) 2本を伸ばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 9

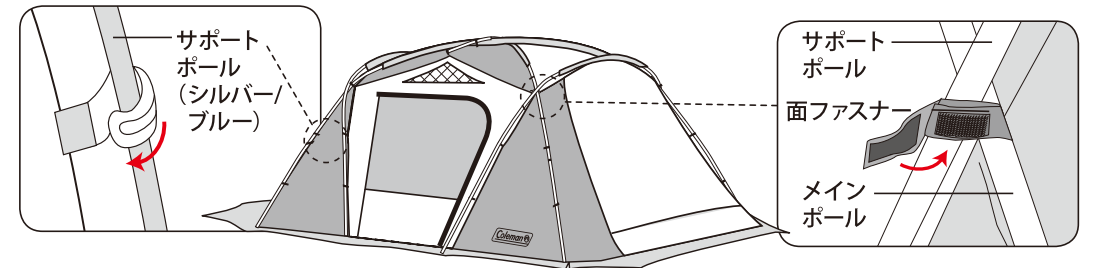
サポートポール (シルバー) をスリーブに通します。サポートポールはメインポールの上になります。ポールの端を、フライシートのピン (コードがブラック) に差し込みます。



注意 ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。ポールをピンに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

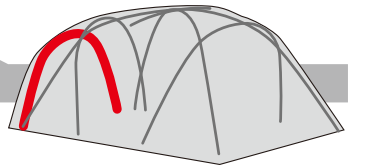
STEP 10

フライシートについているフックをサポートポールにかけ固定します。メインポールとサポートポールの交差部を面ファスナーで固定します。



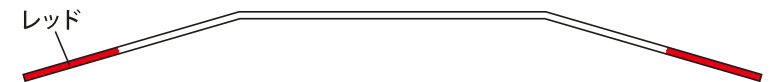
注意 フックをポールにかけるとき、指をはさまないように注意してください。

V リアポールをセットする



STEP 11

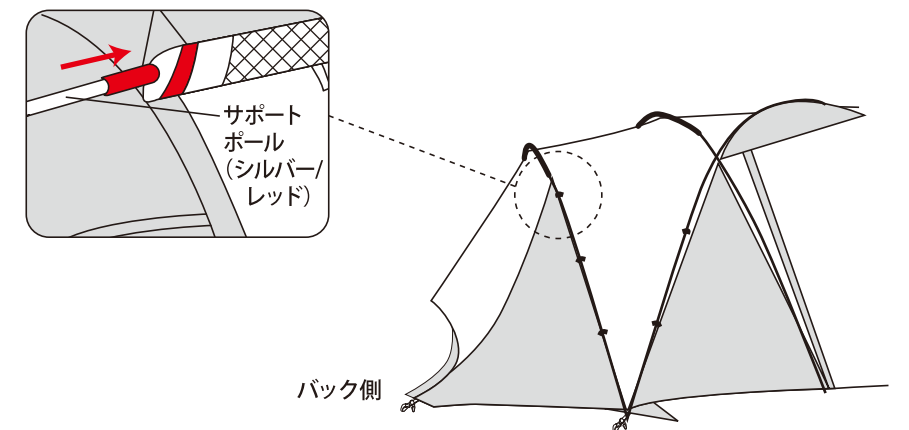
リアポール (シルバー/レッド) を伸ばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 12

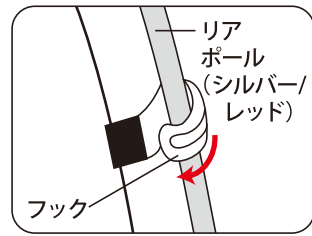
リアポール (シルバー/レッド) をスリーブ (端がレッド) に通します。ポールの端を、フライシートのピンに差し込みます。



注意 ポールをスリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。ポールをピンに差し込む際、指をはさまないように注意してください。

STEP 13

フライシートについているフックをリアポールにかけ固定します。



注意 フックをポールにかける際、指をはさまないよう注意してください。

VI 設定位置を決め固定する

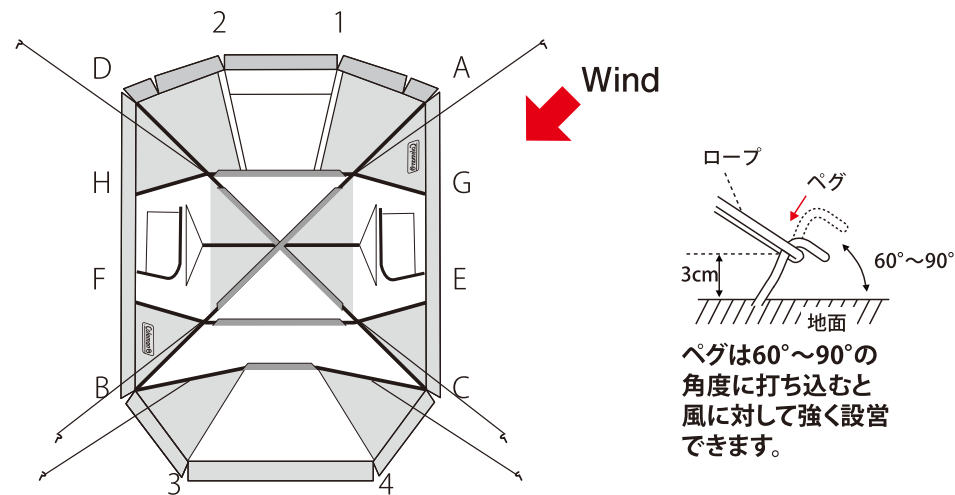
STEP 14

前後左右のファスナーをすべて閉めます。

注意 ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなくなる場合があります。

STEP 15

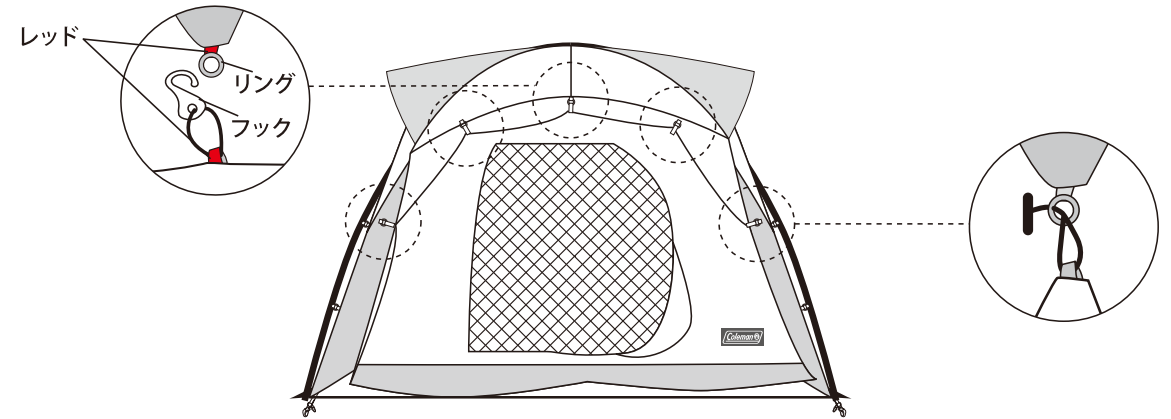
設営位置を決め、図のように8ヶ所のループを風上より順に(A~H)対角線にスチールペグを打ち込み、テントを固定します。
前後のループを張り出し、スチールペグで4ヶ所(1~4)を固定します。



VII インナーテントをセットする

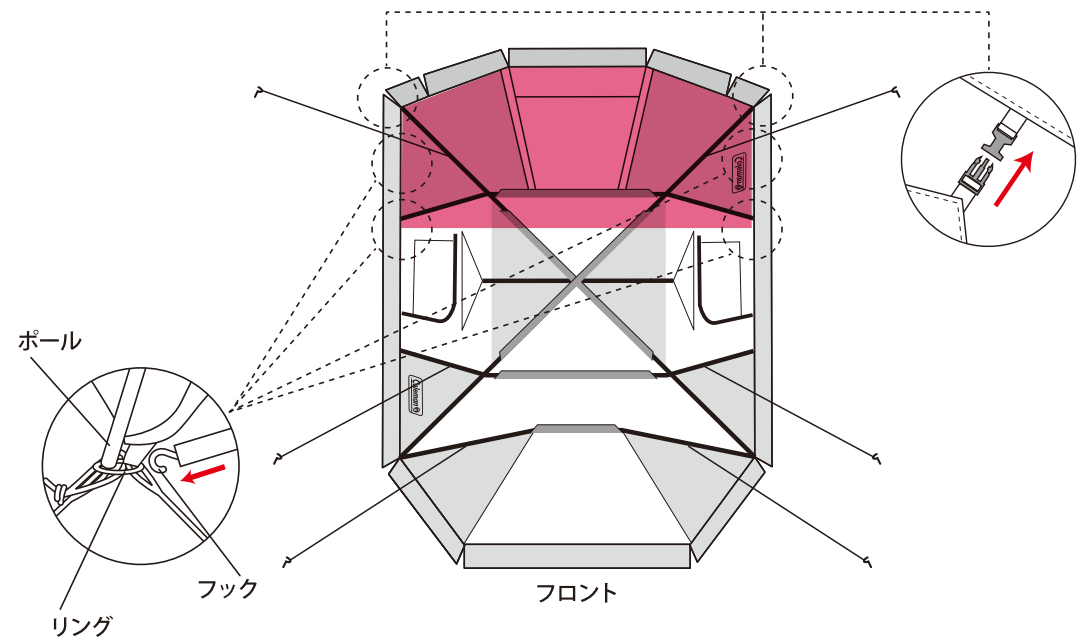
STEP 16

インナーテントを吊り下げます。
フライシート内側にあるリングにインナーテントのトグルをかけます。インナーテントの上部からかけていきます。インナーテント上部中央の赤いテープのフックをタープ側の赤いテープのリングにかけて位置合わせをします。



STEP 17

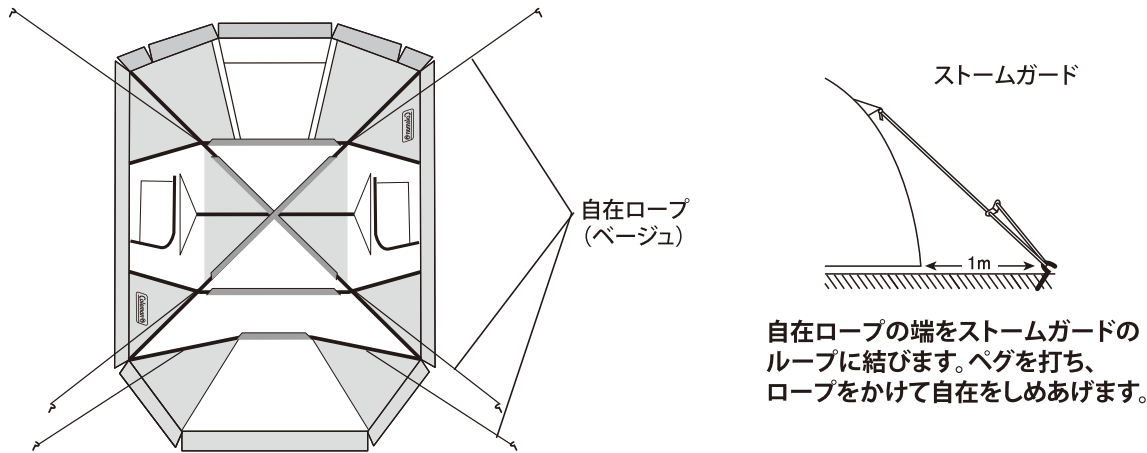
① 4ヶ所のフックをフライシートのリングにかけて固定します。
② 後側の2ヶ所はフライシートについているバックルにとめて固定します。



VIII ロープを張り固定する

STEP 18

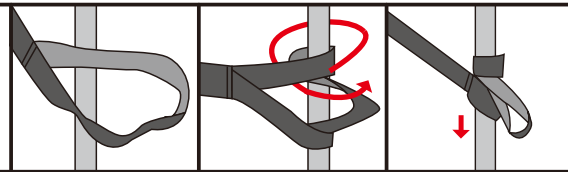
ストームガードシステム (ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法) により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。



上・右図の要領にて6ヶ所にロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグを打ち込み固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないよう調節してください。

注意 大きなサイズのテントは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

ストームガード
本製品はストラップ状のストームガードをポールに巻きつけて固定することにより、安定性をさらに高めています。

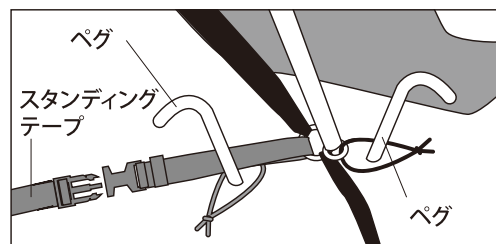


IX スタンディングテープを外す場合

STEP 19

スタンディングテープを外す場合は、ポールをしっかりと固定するために図のように、内側と外側両側のループをペグで固定してください。

内側用のペグは付属品に含まれておりませんので別途ご用意ください。



X キャンピィーを活用する

STEP 20

キャンピィーとして活用する場合は、別売のキャンピィー用ポールを使用します。最適な長さは180cmです。

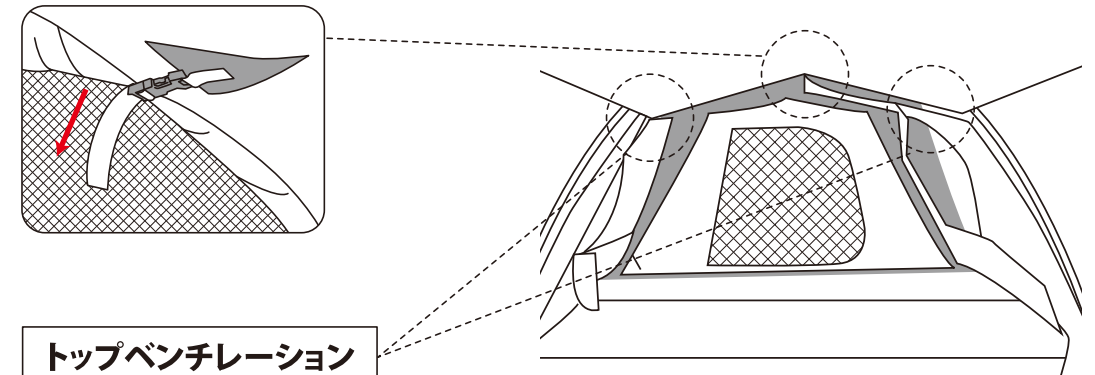


注意 雨天時にキャンピィーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープを結びペグ止めて雨水を流してください。

注意 風の強い時は必ずキャンピィーを閉じてください。ポールが折れる恐れがあります。

ハイビューシステム

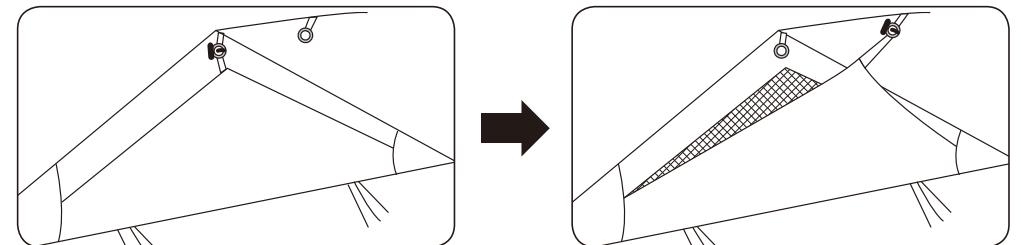
フロントキャンピィーの中央部のバックルをしめることにより、中央部のたるみを取りキャンピィーを高く使用できます。



トップベンチレーション

ベンチレーションを閉じた状態

雨のふりこみを防ぎながら換気をすることができます。

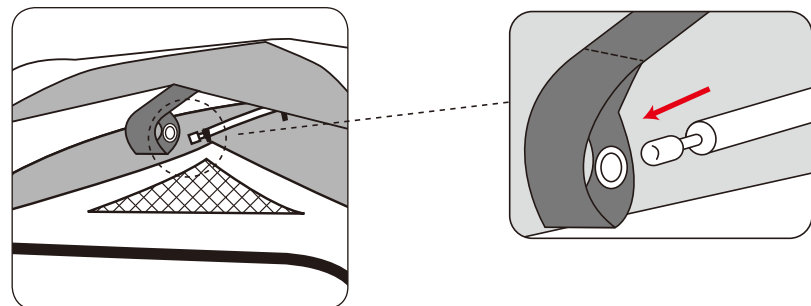


XI ルーフフライをかぶせる場合

STEP 21 ルーフフライをかぶせ、面ファスナーで固定します。
前側のサポートポールと後ろ側のリアポールの
中央部分の面ファスナーで固定します。



リッジポール先端にルーフフライのグロメットをかけます。
面ファスナーをポールに固定します。



ルーフフライの前後のコードに付いているフックをリングにかけます。
面ファスナーをポールに固定します。

